
柚子の薰り

yatennyue

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

柚子の薫り

【ZPDF】

Z0419Z

【作者名】

yatenyue

【あらすじ】

学園から戻らない、妹蜜柑を心配して訪れるのは双子の兄の柚だつた。

蜜柑同様妹に対する態度は、まああれだが、妹を溺愛する彼が何を引き起こすのか？

プロローグ 愤りの雪

「つ柚、柚やあ～」

ドタバタと騒がしい音とともにがたつと襖が開かれる

「…ふあ…まだ遅刻する時間じゃないよ。

じいちゃん

蜜柑起にしてたんじやなかつたの?」

眠たそりに話す少年・柚。

「蜜柑が・みかんが、

わしのへそくりもつて出でこまおつた・・・

そして差し出す妹の手紙

それを読んだ瞬間 グシャッと少年いや袖は握りしめた。

そして、

「やつてくれたな あのバカ娘（黒）

じーちゃん 悪いけど俺も行くよ

あのバカ娘だけじゃ不安だし

これでも、兄だからね。

しつかりまもってやんよ（あーあー。せつかく畠に言われて黙つてたのに

見つかりにくくアリスだからって）

ちゃんと、取り次ぎもしなかつた妹と違い、

近所や学校へのあいさつ、手続きをし、旅立つのだつた。

（じーちゃんが手紙を渡そうとしたけど、書くの遅いしつにならぬかわからぬし

つてことでやつたと旅立つたのであつた）

「さて・・・

どうやって入れてもらうかな?

門を壊してもいいけど、後々教師がうるさいしね

妹とは違う頭が回ったこと考える少年が1人。

アリス学園前で立っていた。

門に必要以上に近づかないため門番たちも扱いかねていいようだ。

「何をしている?」

そこにきたのは不審者の通報で見回りをしていた神野先生であった。

「はい? ?

神野先生の方をむく袖。

「貴様は行けいや違うな。

お前名前は？」

「（ニッコリ）

知らない人に話す名前はありません

－－－といいたいところですが、こいつら辺を漁る詐欺師のように
見えませんし

：

もしかして、□□の教師ですか？」

「・・あ ああ」

あの人 にそつくりの顔で理論的な話しがでたので困惑したよう
だ。

「はじめまして、佐倉 柚です。

妹がお世話になっています。

すいません 馬鹿で」

あの人 とは違う思慮深さ

それはなんだかんだいって あの人と気に入り

その視を悔やんだーー 神野先生が

あの人には持つていてほしかつた一面であった・・・・・・

しかしその瞳はあの人同様輝いていた。

亡き父同様に・・・・・・

だが、それとこれとは別だ。

「何の用だ。

妹には会えんぞ」

「……董から聞いて隠していましたけど、

僕もアリスです。

本当は隠し続けるつもりでした。

けど、妹はやつぱり守らなことでしょう。」

まやしく父と母の一家族の夢を体現したような兄弟愛だった。

「…（運命は止められぬ…か）

お前の持っているところアリスは？」

「テレポート瞬間移動と、妹ミカンと同じ無効化、

そして、鍊金術です。」

テレポート以外珍しいアリス

間違いなく、少年の先は妹と同じく波乱に満ちているだろう

プロローグ 愤りの叫び（後書き）

懲りずにまたかですが、始まりました

彼は、言つながら頭がいい版の泉水です。

更新は激遅ですが、気長に待ってください。

01 転校生。

兄！？（前書き）

今回はストックがありましたが、今度からは早く月1かなあ

01 転校生。

兄！？

「鳴海先生…。転校生だ。」

「はーい▽▽。

「どんな子で、…え？」

「はじめまして。

佐倉 柚です。

「不肖の妹がお世話になつています。」

01 転校生。

兄！？

「な な 。

蛍 ▽▽。知つとる？

「今日転校生が来るんやで～～」

能天氣に笑う、数日前まで意識不明だったとは思えない少女・佐倉 蜜柑。

「そんなのどうぐに知ってるわ。

遅いわよ、貴女。

それより、私、あんたに聞き忘れたことがあったの忘れていたわ。

「

冷静にその紫紺の瞳をまっすぐ蜜柑に向けて言つ。

「なーに?」

無邪氣にブランクの瞳を輝かせて言つ。

太陽のような笑顔で。

レオによる、棗誘拐事件が収束し、蜜柑は数日前、棗は昨日退院し、普通の、学園祭に向けた学園生活を送っていた。

「おとた 柚ひがちとじまつて家、出たとじまつね」の出来事はそんなんじゃ起らなかったことである。

「あとた 柚ひがちとじまつて家、出たとじまつね

「・・・

あー

あわとったーー。どなんじょり

今から手紙書いて聞こいひがな（ブルブル）

ひが、今は手紙届けでもらへと。

ほたるーー

助けてーーー

「嫌よ、『聞こいひがな』

デジマー

大きな音が響いた。

教室のみんながその方向に注目する…と

そこには、目を回す頭にたんごぶを作った少女と、珍しく目を丸くした少女。

そして、手に大きなハンマーを持つ超絶美少年がいた…。

（周りがぶつ壊れているのは、見ないでおこう。 - ）

蜜柑の屍（違つ）をよそに螢とその少年は話していた。

「久しぶりだね。螢」

「そうね、来ちゃったのね 柚。」

めつたに笑わない螢の顔に微笑が浮かぶ。

「ちよ、

「のい

やつこうペーマント正田 スミー。

「ああ、僕は

「柚やあ――――――

……蜜柑。」

少年は呆れた顔で言った。

金がかつた茶色の髪に縁がかつた青の瞳を持つて……。

立ち直つた（早つ）蜜柑が彼に抱きつく。

その瞬間少し雰囲気が変わつた気がした。

女子の殺氣立つた嫉妬と羨望の感情と

一部の男子（棗と流架）のなぜかは分からない視線で

彼も嫌そうにはしておらず、軽く頭をなでる。

「なんだ」「元気ねるん?」

まあええわ。す「」い嬉しいわあ

(ボア) 「

炎が燃え上がる(橙なので低温ではあるが)。

蜜柑の髪端が少し燃え出す。

彼はそこを少し触り炎をとめる。

「何、女の子のしかも蜜柑の髪を燃やしてんのぞ。

そこのじょーねん

そんな柚を無視して蜜柑に言つ。

「おい、水玉。そいつは誰だ?」

「水玉やあらへんもん。

それに柚は柚や。」

「それじゃあ

わかんないでじょ「が、蜜柑。

今日、このクラスに転校してきました佐倉 柚です。

「うちの双子のお兄ちゃんなんやあー」…

「「ええー」」

それもそのはず、一人の容姿はまったくもって似ていない。

まあ蜜柑は母親似、柚は父親似だから仕方ないのだが

思わず蜜柑が

「「ひひひ」」

と叫んだ。

「まあまあ」

と蜜柑がなだめる。

「まあ、佐倉さんのお兄さんなの、

かぶるから柚香でいいかしら？」

私は、正田 スミノエ。よひじくね～～ ～～」

「スミノエさん。

綺麗な名前ですね（微笑）」

起じつたとき以外は敬語な柚。

しかも、妹と同じ無意識たらしである。

「おい、お前、アリスは何だ？」

「そう尋ねるのは、棗だ。

「（人においねえ・・・。わたくしは蜜柑を水玉なんて読んでたし。

まああとあとそれはシメるとして・・・）

「レポートと、ここと回り無効化、それに鍊金術

「…無効化も？」

その蜜のつぶやせませそのあとの方の舌に触しつぶされた。

「ああー 3つもすみー」。

じやあじやあ

星階級は？

「…星？ですか。

もしかしてこれのことですか？」

出したのまゝの星。

「トコフルだわ。 やっぱり、妹達つて優秀「おこ、蜜柑の悪口を言わないでくれる…

消すよ。」「はー

「いいなー、柚づけなんて今はシングルやけど最初は星なしさでー

「あー、やうでしたか、でも蜜柑には蜜柑の良さがありますよ、蜜柑がバカなのはいつものことですね」

れつぱなくひびこ」とを言つたが、妹思ひな柚なのであつた。

0
1
e
n
d

主人公紹介

佐倉 柚

蜜柑双子兄

『柚子の薰り』

デフォルト名

佐倉 柚

名前が示す通り、蜜柑の双子の兄。

妹を溺愛している無意識システムだが、当の本人に対する態度は蚩と同等。

腹黒

人付き合いは良い… だろう たぶん

アリス：瞬間移動、無効化、鍊金術

妹は、無効化、盗み、入れる

星階級：

クラス：B組・特力系

容姿：（泉水そっくりな）美形

金に近い茶色の髪

縁がかつた青瞳

その他：無意識たらし（妹と一緒に）

顔そつくりだし、アリスもそれなのに、ジンジンには気に入られてる（優秀だから）

みかんと違い自分たちが 祖父と血のつながりがないことをうすうす感ずいている

追記：鍊金術のアリスとは、そのまんま鋼錬の鍊金術師です。

物質を理解、分解、再構築できます。

学アリフ・5巻風紹介をすると

佐倉 柚

Yuzu

Sakura

初等部B組

誕生日 1月 1日

年 10

age 10

髪

金に近い茶色の髪

瞳

緑がかつた青瞳

アリス
Alice

? 瞬間移動
teleport

? 無効化
cancel

Alice

? 錬金術
alchemy

能力の高さと珍しさ

alice revel & r a r e

? revel
rare
+ @

? r e v e l + @

r a r e

+ @

? r e v e l + @

r a r e

+ @

星階級 star rank

triple

能力別クラス
特別能力系
ability style class

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0419z/>

柚子の薰り

2011年12月1日19時56分発行